



小海小学校



令和4年度
小海小学校通信
NO.4
6月30日(木)

校長講話から



校長講話のテーマは、昨年度に続いて3回目のSDGs(サステナブル ディベロップメント ゴールズ)。「持続可能な開発目標」と訳されますが、分かりやすく言うと、「将来に向けていい状態で暮らし続けることができるために今みんなで変えていくべき目標」です。今回は「つくる責任 つかう責任」にかかわって、「リサイクル」について考える機会となりました。

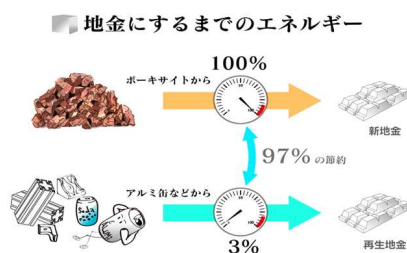
～校長講話抜粋～

「リサイクル」という言葉を聞いたことがありますか?リサイクルとは使い終わった物をゴミとして処分してしまわずに、もう一度資源にもどして製品をすることです。皆さんの家でもプラスチック類や紙、ビンなどをリサイクルとして出していると思います。



小海小学校では、PTAを中心にアルミ缶を集めています。皆さんは、このようなマークを見たことがありますか?飲み物用のアルミ缶には法律で決まったデザインの「アルミ缶マーク」がついています。日本では、使われたアルミ缶の約95%がリサイクルされています。アルミ缶をたくさん集めて1000個以上をまとめて押しつぶすと、アルミニウムの原料となります。それを、アルミニウムをつくる工場に運び、高温で溶かして再びアルミニウム製品を作ります。約70%は、再びアルミ缶に生まれ変わり、残りは、自動車や飛行機の部品、1円玉、料理用アルミホイル、鍋やヤカンなどになります。

元々アルミニウムの原料はボーキサイトという石です。その石からアルミニウムを作り出すには、とてもたくさんのエネルギーが必要です。ところが、アルミ缶のリサイクルの場合、ボーキサイトから作り出すわずか3%のエネルギーですみます。これは地球にとってとてもやさしい取り組みと言えます。このようにアルミニウムのリサイクルはいいことだらけなので、アルミニウムは「リサイクルの王様」とも言われています。



もう一度、小海小学校のアルミ缶リサイクルに話を戻します。去年はコロナの影響でPTAの資源回収の日が中止になってしまいましたが、おとしの資源回収のときには、大きなトラックに乗りきれないほどのたくさんのアルミ缶が集まりました。おとし集まった量は1910kgで、95500円になりました。去年は、資源回収の日が中止になってしまい、みなさんの家から少しずつもってきてもらったアルミ缶が1130kgで、56500円集まりました。小海小学校では、そのお金をスキーそり教室のときのお昼のカレー代に使っています。みんなにとってもとても嬉しいことですね。

みんなも嬉しい、環境にもいい。みなさんのお家でたくさんアルミ缶を集めて、小海小学校に持ってきてください。

今日は、アルミ缶のリサイクルについてお話ししましたが、他にもリサイクルできるものはたくさんあります。どんなものがあるか、自分たちで調べてみてください。そして、リサイクルに積極的に取り組みましょう。

SDGsに興味をもった人は、小海小学校の図書館にも本がありますので、手にとってみてください。

【6年生の感想から】

- ・私は廃品回収の缶がどのようになっていくのか、エコなのかよく分かっていなかったけど、話を聞いてよく分かりました。これからはいろんなリサイクルマークを見ようと思います。
- ・SDGsの話を聞いて、いつも何も思わないで捨てていたゴミが、いつも使っている物に変化して、すごい良い物に変わるってことが分かりました。これからは捨てないでリサイクルに回したいと思いました。
- ・今日の話で、アルミ缶が車とか鍋にもなって、使う電力がボーキサイトから作る時の3%ってすごい良いなと思いました。まだ95%しかリサイクルできてないから、その5%を減らす一人になりたいです。
- ・アルミニウムがリサイクルの王様というのが確かに!と思った。学校にアルミ缶を持ってきたことがないから心がけたい。他のSDGsにも気をつけて生活したい。特に残食をしないようにしたい。

NIE(新聞を活用した学習)への取り組み

NIEという言葉聞いたことはあるでしょうか。NIE(エヌ・アイ・イー)は1930年代にアメリカで始まった運動で、(Newspaper in Education)の略です。学校などで新聞を教材として活用したり、新聞作りを行ったり、メディア・リテラシーを学んだりする活動の総称で、日本では、日本新聞協会が児童・生徒・学生の活字離れや社会的無関心の傾向を改善させる目的で1985年から取り組みを始め、全国規模で推進しています。

実践校を指定してNIE活動を支援する事業では、全国で500校を超える学校が参加していますが、令和4・5年度の2年間、小海小学校でも取り組んでいくこととなりました。新聞を授業に活用することで児童・生徒の学習意欲が高まり、積極的な学習態度が身に付くといわれています。また、新聞に親しみながら家族と対話することで、コミュニケーション力の育成に役立つことも分かっています。子ども達の力を伸ばしていきたいよう、外部のアドバイザーとも連携しながら進めていきたいと思ひます。

読み手に伝わるよう、5W1H「When:いつ」「Where:どこで」「Who:だれが」「What:何を」「Why:なぜ」「How:どのように」を考えてまとめた“修学旅行新聞”が6年生廊下に掲示中です。ぜひご覧ください。



7月の主な予定

- | | |
|-------------|------------------|
| 1日(金) | 全校参観日 |
| 4日(月) | 6年生 小海中体験① |
| 6日(水)~7日(木) | 5年生 キャンプ |
| 8日(金) | 5年生 計画休業 |
| 11日(月) | 地区児童会
感謝の会 |
| 12日(火) | 校長講話 |
| 14日(木) | クラブ3 |
| 19日(火) | 学校運営委員会 |
| 21日(木) | 学期末整理 全校15:10下校 |
| 22日(金) | 〃 〃 |
| 25日(月) | 〃 〃 |
| 26日(火) | 1学期終業式 全校14:00下校 |
| 27日(水)~ | 夏季休業 8月22日(月)まで |
| 8月23日(火) | 2学期始業式 全校14:00下校 |

※今後の感染状況により、計画が変更となる場合があります。

夏本番!

太陽の位置

夏至(げし)
6月21日(火)
1年で1番日が長く
夜が短い日のこと

夏になると日が長くなり、夜7時頃でも真っ暗にはなりません。昼(日の出から日の入りまで)の時間は、約14時間半もあります。冬よりも5時間近く日が長いこととなります。

この時期は、太陽の出ている時間が最も長く、光のパワーが最も強いので、外出時には帽子をかぶり、水分補給をして、熱中症にならないよう気をつけましょう!

夏至を過ぎると少しずつ日が短くなりますが、地面や海水に日々熱が蓄えられていくので、夏至から1ヶ月後の7月中旬以降、気温が最も高くなります。

スクールカウンセラー来校について

スクールカウンセラーは、全ての子ども達が快適に学校生活を送ることができるよう子ども達の様子をみたり、話を聞いてくれたりする先生です。心配事や悩み、困り事などのある児童・保護者の相談ののってくださいます。次回は8月26日(金)午前中になります。相談のある場合は、教頭または担任(92-2032)まで、お気軽にご連絡いただければと思います。

熱中症対策について

連日暑い日が続きます。水分補給のため、夏場にはスポーツドリンクを持ってきて良いことになっています。スポーツドリンクの場合は、ペットボトルのままかまいませんので、お含みおきください。